

あい	250	哀悼の詞	本宮三香(続絶日76)	うこ	562	烏江亭に題す	杜 牧(絶中39)
あお	189	青葉の笛	松口月城(続絶日79)	うご	130	雨後登楼	釈 絶海(絶日7)
あお	420	青葉の笛	松口月城(続絶日79)	うち	384	雨中花に対す	釈 義堂(吟全日75)
あか	221	赤馬が関舟中の作	伊形霊雨(絶日20)	うち	612	内山峡	洪沢栄一(律堂SSE)
あか	599	赤馬が関舟中の作	伊形霊雨(絶日20)	うち	613	内山峡 其二	洪沢栄一(堂SBE)
あか	301	暁に発つす	月田蒙斎(続絶日36)	うみ	73	海に泛ぶ	王 守仁(絶中53)
あか	330	赤馬が関懐古	菅 茶山(律日11)	うみ	584	海に泛ぶ	王 守仁(絶中53)
あぐ	299	阿嵎嶺	頼 山陽(続絶日24)	うみ	96	海を望む	藤井竹外(続絶日35)
あさ	424	浅間馬子唄	松口月城(松詩集22)	えい	606	詠史	佐久間象山(絶日49)
あし	513	足利義政に賜う	後花園天皇(侍131)	えい	611	詠史	板垣退助(堂ITA)
あそ	79	阿蘇山	安達漢城(続絶日67)	えき	5	易水送別	駱 賓王(絶中1)
あべ	546	阿部野	広瀬旭荘(絶日45)	えき	653	易水送別	駱 賓王(絶中1)
あま	283	天草洋に泊す	頼 山陽(律日20)	えき	470	易水送別	駱 賓王(漢パス078)
いえ	596	家に帰る	藤井竹外(竹外21)	えじ	304	埃及懐古	塩谷節山(絶日77)
いく	246	生田に宿す	菅 茶山(絶日21)	えっ	107	越中覧古	李 白(続絶中20)
いく	618	生田に宿す	菅 茶山(絶日21)	えの	173	絵の島	菅 茶山(続絶日13)
いし	316	石鎚山	海量法師(続絶日9)	おう	98	近江八景	大江敬香(律日52)
いそ	108	磯浜望洋楼に登る	三島中洲(続絶日42)	おう	416	近江八景	大江敬香(律日52)
いそ	126	磯原客舎	吉田松陰(律日43)	おう	127	奥羽道中	榎本武揚(続絶日50)
いそ	536	磯原客舎	吉田松陰(律日43)	おう	139	応制天の橋立	釈 希世(続絶日5)
いち	141	一の谷懐古	梁川星巖(律日25)	おう	620	応制天の橋立	釈 希世(続絶日5)
いち	327	一乗寺に遊ぶ	伊藤仁斎(律日6)	おう	169	桜花の詞	作者不詳(律日62)
いつ	46	逸題	橋本左内(律日45)	おう	520	桜花の詞	作者不詳(律日62)
いつ	197	逸題	西郷南洲(律)	おう	171	汪倫に贈る	李 白(絶中14)
いつ	517	逸題	西郷南洲(律)	おう	518	汪倫に贈る	李 白(絶中14)
いつ	217	逸題	篠原国幹(絶日63)	おう	226	桜祠に遊ぶ	広瀬旭荘(絶日45)
いつ	256	逸題	山内容堂(絶日57)	おう	389	懊濃の歌	劉 基(吟全中41)
いつ	405	逸題	勝 海舟(吟全日53)	おお	20	太田道灌蓑を借るの図に題す	作者不詳(絶日42)
いど	617	医道論	北里柴三郎(つKSS)	おお	519	太田道灌	作者不詳(絶日42)
いな	150	稻叢懐古	太幸春台(絶日16)	おお	176	大阪城	松口月城(律)
いな	630	稻叢懐古	太幸春台(絶日16)	おお	429	太田持資蓑を借るの図	藤井竹外(竹外詩50)
いに	24	古に擬す	河野鉄兜(続絶日41)	おお	554	大君の(和歌)	月 照(絶日59)
いに	619	医に贈る	福沢諭吉(慶FZY)	おお	641	大空も…(和歌)	樋口一葉(水仙)
いろ	637	色いと白く(和歌)	樋口一葉(NATU)	おけ	218	桶狭間を過ぐ	太田錦城(続絶日18)
いわ	200	岩崎谷の洞に題す	西郷南洲(絶)	おけ	605	桶狭間を過ぐ	太田錦城(続絶日18)
いわ	300	岩崎谷の洞に題す	西郷南洲(絶)	おだ	258	小田原懐古	作者不詳(律)
いん	561	飲酒	陶 潜(律中2)	おや	47	親を夢む	細井平洲(絶日19)
うい	289	烏衣巷	劉 兎錫(絶中29)	かい	87	海南行	細川頼之(絶日6)
うき	352	浮世とは(和歌)	伊藤博文(日漢490)	かい	440	海南行	細川頼之(絶日6)
うこ	33	烏江亭に題す	杜 牧(絶中39)	かい	334	甲斐の客中	荻生徂徠(続絶日7)

かい	498	界浦の舟中	藤井竹外(竹外詩031)	かん	229	鶴鵲楼に登る	王 之涣(絶中6)
がい	303	垓下の歌	項 籍(律中1)	かん	302	咸陽城の東楼	許 渾(律中34)
がい	465	垓下の歌	項 羽(漢パス075)	かん	381	歆学文	朱 熹(吟全中85)
がい	332	凱旋	乃木希典(続日59)	きが	119	己亥の歳	曹 松(続絶中45)
かが	7	鏡に照らして白髪を見る	張 九齡(絶中4)	きが	588	己亥の歳	曹 松(続絶中45)
かが	368	鏡に照らして白髪を見る	張 九齡(絶中4)	きく	95	菊花	白 居易(絶中32)
かく	93	客中の作	李 白(続絶中15)	きく	610	菊花	白 居易(絶中32)
かく	578	客中の作	李 白(続絶中15)	きじ	540	紀事	梁川清巖(絶日31)
かく	99	各舎の壁に題す	雲井龍雄(続絶日56)	きせ	10	帰省	狄 仁傑(律中6)
がく	333	岳陽楼に登る	杜 甫(律中22)	きせ	607	帰省	狄 仁傑(律中6)
かけ	81	家兄に寄せて志を言う	広瀬武夫(絶日76)	きよ	206	京都東山	徳富蘇峰(絶日74)
かけ	521	家兄に寄せて志を言う	広瀬武夫(絶日76)	きよ	255	曲江	杜 甫(律中18)
かげ	297	花月吟	藤野君山(律日53)	きよ	347	郷に回って偶書す	賀 知章(続絶中3)
かご	159	鹿児島客中の作	亀井南冥(続絶日12)	きよ	393	京師にて家書を得たり	袁 凱(吟全中157)
かさ	154	重ねて楓橋に宿す	張 継(続絶中31)	きよ	484	曲江	杜 甫(漢パス056)
かじ	161	夏日悟空上人の院に題するの詩	杜 荀鶴(続絶中46)	きよ	509	興を遣る吟	伊達政宗(侍26)
かす	135	春日山懐古	大槻磐溪(絶日40)	きり	396	羈旅の春に逢う	中江藤樹(吟全日161)
かす	427	春日山懐古	大槻磐溪(絶日40)	きん	177	金谷園	杜 牧(絶中41)
かち	190	花朝澱江を下る	藤井竹外(絶日47)	きん	207	金州城下の作	乃木希典(絶日69)
かち	408	花朝澱江を下る	藤井竹外(絶日47)	きん	452	金州城下の作	乃木希典(絶日69)
かひ	68	佳賓好主	佐藤一斎(続絶日20)	きん	237	金縷の衣	杜 秋娘(絶中42)
かひ	423	佳賓好主	佐藤一斎(続絶日20)	きん	247	金陵の囀	韋 荘(絶中43)
がび	61	峨眉山月の歌	李 白(絶中18)	きん	362	金陵の鳳凰台に登る	李 白(律中13)
がび	487	峨眉山月の歌	李 白(漢パス036)	ぎん	358	吟心	松口月城(続松273)
かぶ	264	胄山の歌	頼 山陽(律日21)	ぐう	77	偶成	大鳥圭介(続絶日39)
かま	539	鎌倉懐古	服部南郭(律)	ぐう	106	偶感	西郷南洲(絶日58)
かり	434	雁を聞く	韋 応物(続絶中30)	ぐう	476	偶感	西郷隆盛(漢パス099)
かわ	18	河内路上	菊地溪琴(絶日34)	ぐう	113	偶成	朱 熹(絶中51)
かわ	417	河内路上	菊地溪琴(絶日34)	ぐう	442	偶成	朱 熹(絶中51)
かわ	549	川中島を望む	菊池溪琴(絶日35)	ぐう	163	偶成	新島 襄(続絶日55)
かん	3	漢江	杜 牧(続絶中38)	ぐう	248	偶成	木戸孝允(絶日62)
かん	574	漢江	杜 牧(続絶中38)	ぐう	475	偶成	木戸孝允(漢パス098)
かん	34	勸学	木戸孝允(絶日61)	ぐう	262	偶成	松平春嶽(続絶日43)
かん	585	勸学	木戸孝允(絶日61)	ぐう	272	偶成	横井小楠(続絶日38)
かん	50	寒梅	新島 襄(絶日68)	ぐう	398	偶作	新井白石(吟全日173)
かん	530	寒梅	新島 襄(絶日68)	ぐう	401	偶然の作	屈 復(吟全中145)
かん	114	寒夜の即事	寂室元光(絶日4)	ぐう	495	偶成	伊達政宗(漢パス087)
かん	580	寒夜の即事	寂室元光(絶日4)	ぐう	511	偶作	武田信玄(侍40)
かん	115	感有り	山崎闇斎(絶日12)	くが	9	九月十五夜	菅原道真(律日4)
かん	587	感有り	山崎闇斎(絶日12)	くが	523	九月十五夜	菅原道真(律日4)

くが	181	九月十三夜陣中の作	上杉謙信(絶日9)	こう	579	弘道館に梅花を賞す	徳川景山(絶日37)
くが	390	九月十三夜陣中の作	上杉謙信(絶日9)	こう	69	香炉峰下の山居	白居易(律中31)
くが	232	九月十日	菅原道真(絶日3)	こう	86	江南の春	杜牧(絶中36)
くが	502	九月十日	菅原道真(漢パス085)	こう	435	江南の春	杜牧(絶中36)
くが	370	九月九日山東の兄弟を憶う	王維(続絶中6)	こう	100	江楼にて感を書す	趙瑕(続絶中41)
くが	379	九月十三夜月を翫ぶ	藤原忠通(日人漢64)	こう	645	江楼にて感を書す	趙瑕(続絶中41)
くさ	311	草	白居易(律中28)	こう	103	江上の船	嵯峨天皇(続絶日2)
くだ	74	九段の桜	本宮三香(続絶日75)	こう	510	江上の船	嵯峨天皇(続絶日2)
くだ	531	九段の桜	本宮三香(続絶日75)	こう	137	江畔独歩花を尋ぬ	杜甫(続絶中25)
くま	251	熊本城	原雨城(続絶日77)	こう	193	黄鶴楼	崔顥(律中8)
くま	291	隈川雑詠 その一	広瀬淡窓(続絶日28)	こう	315	庚寅歳晩雑詩	鈴木豹軒(絶日78)
くま	292	隈川雑詠 その二	広瀬淡窓(続絶日29)	こう	344	江雪	柳宗元(続絶中35)
くも	227	雲	大窪詩仏(続絶日19)	こう	496	江夏にて宋之悌に別る	李白(漢パス044)
けい	78	閨怨	王昌齡(続絶中10)	こう	634	豪雄義経	松口月城(クラウン14)
けい	112	桂林荘雑詠諸生に示す その一	広瀬淡窓(絶日29)	ごく	32	獄中の作	頼鴨崖(律日36)
けい	608	桂林荘雑詠諸生に示す	広瀬淡窓(絶日29)	ごく	444	獄中の作	頼鴨崖(律日36)
けい	124	桂林荘雑詠諸生に示す その三	広瀬淡窓(続絶日26)	ごく	37	獄中感有り	西郷南洲(律日40)
けい	156	桂林荘雑詠諸生に示す その二	広瀬淡窓(絶日30)	ごく	529	獄中感有り	西郷南洲(律日40)
けい	165	桂林荘雑詠諸生に示す その四	広瀬淡窓(続絶日27)	ごく	92	獄中の作	橋本左内(続絶日45)
けい	331	京に入る使に逢う	岑参(続中27)	ごく	525	獄中の作	橋本左内(続絶日45)
けい	350	惠崇の春江晩景	蘇軾(全絶中27)	ごく	118	獄中の作	武市半平太(続絶日44)
けっ	279	結婚式	安達漢城(続絶日68)	ごく	590	獄中の作	武市半平太(続絶日44)
けっ	660	結婚を賀す	松口月城(CRR5)	ごく	216	獄中の作	高杉晋作(絶日67)
けつ	213	訣別	梅田雲浜(絶日50)	ここ	160	志を言う	藤田東湖(絶日43)
げっ	556	月下独酌	李白(律中12)	ここ	648	心だに・・・(和歌)」	紫式部(MSS)
げつ	170	月夜三叉口に舟を泛ぶ	高野蘭亭(絶日18)	こじ	187	児島高德桜樹に書するの図に題す	斎藤監物(律日33)
げつ	422	月夜三叉口に舟を泛ぶ	高野蘭亭(絶日18)	こじ	526	児島高德	斎藤監物(律日33)
げつ	263	月夜禁垣外を歩す	柴野栗山(続絶日11)	こじ	202	湖上に飲す	蘇軾(続絶中51)
げつ	269	月夜荒城の曲を聞く	水野豊州(律日60)	こと	97	事に感ず	千漬(絶中44)
げつ	503	月夜	杜甫(漢パス054)	こと	436	事に感ず	千漬(絶中44)
げつ	542	月夜に梅花を見る	菅原道真(絶)	こぼ	572	小督の局	松口月城(クラ19)
けん	326	建徳江に宿る	孟浩然(絶)	ごや	116	後夜仏法僧鳥を聞く	空海(絶日1)
けん	337	剣門の道中にて微雨に遇う	陸游(絶中49)	ごや	601	後夜仏法僧鳥を聞く	空海(絶日1)
げん	27	元二の安西に使いするを送る	王維(絶中9)	こん	212	金剛山	山岡鉄舟(続絶日49)
げん	415	元二の安西に使いするを送る	王維(絶中9)	こん	632	金剛山	山岡鉄舟(続絶日49)
こい	117	胡隠君を尋ぬ	高啓(絶中52)	さか	243	坂本龍馬	松口月城(律日63)
こい	640	胡隠君を尋ぬ	高啓(絶中52)	さか	407	坂本龍馬	松口月城(吟古詩338)
こう	2	黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る	李白(絶中19)	さか	244	坂本龍馬を思う	河野天籟(絶日74)
こう	577	黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る	李白(絶中19)	さけ	56	酒に対す	白居易(絶中31)
こう	36	弘道館に梅花を賞す	徳川景山(絶日37)	さけ	376	酒に対す 其の一	白居易(吟全中217)

さけ	339	酒を酌んで裴迪に与う	王 維(律中10)	しず	400	静	頼 山陽(吟全日299)
さけ	482	酒に對して賀藍を憶う(その一)	李 白(漢パス040)	じせ	158	辞世	吉田松陰(絶日60)
さし	364	さし出づる(和歌)	本居宣長(遊吟140)	じせ	425	辞世	吉田松陰(絶日60)
させ	29	左遷せられて藍関に至り姪孫湘に示す	韓 愈(律中27)	じち	625	自著時事小言の後に題す	福沢諭吉(堂FZY)
させ	441	左遷せられて藍関に至り姪孫湘に示す	韓 愈(律中27)	しつ	144	失題	古莊嘉門(続絶日53)
ざっ	40	雑詩	王 維(続絶中7)	しつ	336	失題	勝 海舟(律日35)
さめ	338	鮫島生の東行を送る	横井小楠(続絶日37)	しつ	547	失題	洪沢栄一(堂45)
さん	23	山中幽人と対酌す	李 白(絶中22)	じに	266	児に示す	陸 游(絶中50)
さん	478	山中にて幽人と対酌す	李 白(漢パス024)	しめ	500	四明峰	藤井竹外(竹外詩071)
さん	45	山行	杜 牧(絶中37)	しも	559	下田の開港を聞く	釈 月性(絶日51)
さん	575	山行	杜 牧(絶中37)	しゃ	199	社友小集	福沢諭吉(続絶日46)
さん	64	山亭夏日	高 駢(続絶中42)	しゃ	623	社友小集	福沢諭吉(続絶日46)
さん	568	山亭夏日	高 駢(続絶中42)	しゅう	54	舟中子規を聞く	城野静軒(絶日39)
さん	75	山中の月	藪 狐山(続絶日10)	しゅう	522	舟中子規を聞く	城野静軒(絶日39)
さん	80	山房春事	岑 参(続絶中28)	しゅう	105	修学	夢窓疎石(続絶参1)
さん	504	山房春事	岑 参(続絶中28)	しゅう	129	秋思	張 籍(続絶中32)
さん	507	山房春事 其一	岑 参(続絶中28)	しゅう	468	秋思	張 籍(漢パス069)
さん	110	山行同志に示す	草場佩川(絶日28)	しゅう	182	秋思	劉 兎錫(絶中30)
さん	439	山行同志に示す	草場佩川(絶日28)	しゅう	414	秋思	劉 兎錫(絶中30)
さん	145	山中問答	李 白(続絶中21)	しゅう	214	秋浦の歌	李 白(絶中21)
さん	460	山中問答	李 白(漢パス035)	しゅう	215	秋思の詩	菅原道真(律日2)
さん	162	山中の月	真 山民(律中42)	しゅう	225	秋思	許 渾(絶中35)
さん	428	山中の月	真 山民(律中42)	しゅう	592	秋思	許 渾(絶中35)
さん	198	山間の秋夜	真 山民(絶中46)	しゅう	238	秋日偶成	程 顥(律中36)
さん	446	山間の秋夜	真 山民(絶中46)	しゅう	367	秋日友人に別る	巨勢識人(文華秀81)
さん	204	三樹の酒亭に遊ぶ	菊池溪琴(絶日35)	しゅう	274	子由の澗池懐旧に和す	蘇 軾(律中37)
さん	359	山中諸生に示す その五	王 守仁(続絶中59)	じゅう	53	従軍行	乾 隆帝(続絶中62)
さん	432	山陽先生浪速に遊ぶを澗江に送る	藤井竹外(高連竹2)	じゅう	134	従軍行	王 昌齡(絶中12)
ざん	565	残月杜鵑	菊池三溪(続絶日54)	じゅう	659	従軍行	王 昌齡(絶中12)
じえ	454	侍宴	大友皇子(漢パス022)	しゆく	123	祝賀の詞	河野天籟(律日56)
じお	288	慈恩塔に題す	荊 叔(続絶中44)	しゆさ	222	出塞行	王 昌齡(絶中13)
しか	11	四海波	本宮三香(絶)	しゆっ	167	出郷の作	佐野竹之助(絶日66)
しき	205	敷島の(和歌)	本居宣長	しゆっ	524	出郷の作	佐野竹之助(絶日66)
じが	307	自画に題す	夏目漱石(続絶日73)	じゆっ	261	述懐	頼 山陽(律日15)
しし	355	志士平野國臣	松口月城(律松107)	じゆっ	275	述懐	雲井龍雄(律)
しじ	354	四十七士を詠ず	坂井虎山(律日28)	じゆっ	516	述懐	雲井龍雄(律)
しじ	543	四十七士	大塩平八郎(絶)	じゆっ	294	述懐	蒲生君平(律日14)
じし	257	自訟	杉浦重剛(続絶日61)	しゆん	30	春行して興を寄す	李 華(続絶中11)
じじ	357	時事偶感	杉浦重剛(続絶日62)	しゆん	31	春流	北条時頼(続絶日4)
しず	286	静御前	頼 山陽(律日16)	しゆん	380	春流	北条時頼(続絶日4)

しゅん 52	春風	白	居易(続絶中33)	しよく 361	蜀中九日	王	勃(絶中2)
しゅん 443	春風	白	居易(続絶中33)	しよく 392	織女惜別	直江兼統	(吟全日359)
しゅん 67	春簾雨窓	頼	鴨匡(絶日55)	しよせ 179	諸生と月を見る	中江藤樹	(続絶日6)
しゅん 563	春簾雨窓	頼	鴨匡(絶日55)	しよせ 194	諸生に示す	安積良斎	(律日27)
しゅん 94	春日家に還る	正岡子規	(続絶日71)	じよや 180	除夜の作	高	適(絶中23)
しゅん 120	春望	杜	甫(律中17)	じよや 490	除夜の作	杜	甫(漢パス065)
しゅん 506	春望	杜	甫(漢パス055)	しよを 295	書を観て感有り	朱	熹(続絶中54)
しゅん 132	春夜洛城に笛を聞く	李	白(絶中16)	しよを 325	暑を山園に避く	王	世貞(続絶中60)
しゅん 489	春夜洛城に笛を聞く	李	白(漢パス038)	しら 203	白鳥は(和歌)	若山	牧水
しゅん 157	春日偶成	夏目漱石	(絶日75)	しろ 210	城山	西	道僊(絶日64)
しゅん 184	春夜	蘇	軾(絶中47)	しろ 586	城山	西	道僊(絶日64)
しゅん 236	春暁	孟	浩然(絶中8)	しろ 418	銀も(和歌)	山上	憶良(万葉集5-803)
しゅん 461	春暁	孟	浩然(絶中8)	しを 541	史を読みて感有り	草場	佩川(絶日28)
しゅん 239	春暁	日柳燕石	(絶日52)	しん 6	新正口号	武田	信玄(絶日8)
しゅん 626	春暁	日柳燕石	(絶日52)	しん 388	新正口号	武田	信玄(絶日8)
しゅん 462	春暁	大田南畝	(漢パス090)	しん 111	秦淮に泊す	杜	牧(絶中40)
しゅん 564	春暁	菊池三溪	(絶日54)	しん 649	秦淮に泊す	杜	牧(絶中40)
しゅん 501	春夜	蘇	軾(漢パス073)	しん 319	新涼書を読む	菊池	三溪(絶日54)
しゅん 278	春初感を書す	安積良斎	(絶日33)	しん 552	新緑	武田	信玄(絶)
しゅん 314	春日山荘	有智子内親王	(律日1)	しん 558	清国より帰朝して作有り	伊藤	博文(絶)
しゅん 329	春怨 その	劉	方平(絶)	すい 394	醉余口号	伊達	政宗(日漢245)
しゅん 353	春夜雨を喜ぶ	杜	甫(律漢詩20)	すい 395	睡起偶成	王	守仁(吟全中387)
しゅん 431	春寒の江上	藤井竹外	(竹外詩58)	すい 404	酔後口占	張	問陶(吟全中389)
しゅん 449	春雨魚を捕る	藤井竹外	(竹外詩291)	すう 473	数日来鶯橋前に鳴きて去らず此を賦して鶯に贈る①	高杉	晋作(漢パス096)
しゅん 483	春日李白を憶う	杜	甫(漢パス052)	すう 474	数日来鶯橋前に鳴きて去らず此を賦して鶯に贈る②	高杉	晋作(漢パス096)
しょう 51	銷夏の詩	袁	枚(続絶中61)	すま 633	須磨禪昌寺にて楓を見る	伊藤	博文(堂THB)
しょう 438	銷夏の詩	袁	枚(続絶中61)	せい 63	西宮秋怨	王	昌齡(続絶中9)
しょう 104	焦心録後に題す	高杉晋作	(続絶日51)	せい 90	西南の役陣中の作	佐々	友房(続絶日60)
しょう 636	焦心録後に題す	高杉晋作	(続絶日51)	せい 661	西南の役陣中の作	佐々	友房(続絶日60)
しょう 109	鐘山即事	王	安石(絶中45)	せい 152	清明	杜	牧(続絶中39)
しょう 293	小楠公の母を詠ず	本宮三香	(律日59)	せい 573	清明	杜	牧(続絶中39)
しょう 296	松竹梅	松口月城	(続絶日80)	せい 172	清平調詞 その一	李	白(続絶中12)
しょう 598	松竹梅の図	藤井竹外	(竹外295)	せい 445	清平調詞 その一	李	白(続絶中12)
じょう 58	城東の荘に宴す	崔	敏童(続絶中4)	せい 191	静夜思	李	白(絶中15)
しよか 146	書懷	西郷南洲	(律日39)	せい 249	清平調詞 その二	李	白(続絶中13)
しよか 155	書懷	篠原国幹	(続絶日48)	せい 335	清平調詞 その三	李	白(続絶中14)
しよか 622	書懷	篠原国幹	(続絶日48)	せい 448	星巖先生を墨水に訪う	藤井	竹外(竹外詩13)
しよか 378	初夏即事	王	安石(続絶中50)	せき 242	磧中の作	岑	参(絶中25)
しよく 317	蜀相	杜	甫(律中19)	せき 252	惜春詞	小野	湖山(律日32)
しよく 323	蜀中九日	王	勃(絶中2)	せき 373	赤壁	杜	牧(中漢235)

せつ	125	雪梅	方岳(続絶中56)	ちゆ	655	中秋の月	蘇軾(続絶中52)
せつ	383	雪梅	方岳(続絶中56)	ちゆ	397	中元の夜枕上にて憶う有り	袁宏道(吟全中461)
せつ	231	折楊柳	楊巨源(絶中27)	ちよ	17	長安主人の壁に題す	張謂(続絶中29)
ぜつ	15	絶句(江碧)	杜甫(絶中24)	ちよ	164	長城	汪遵(続絶中43)
ぜつ	451	絶句(江碧)	杜甫(絶中24)	ちよ	280	長安春望	盧綸(律中25)
ぜつ	76	絶句(兩箇)	杜甫(続絶中24)	ちよ	366	晁卿衡を哭す	李白(絶)
ぜつ	642	絶句(兩箇黄鸝)	杜甫(続絶中24)	ちよ	456	長恨歌(1/4)	白楽天(漢パス020)
ぜつ	479	絶句(遲日)	杜甫(漢パス028)	ちよ	457	長恨歌(2/4)	白楽天(漢パス020)
ぜつ	268	絶命の詞	黒沢忠三郎(続絶日52)	ちよ	458	長恨歌(3/4)	白楽天(漢パス020)
ぜつ	638	絶命の詞	黒沢忠三郎(続絶日52)	ちよ	459	長恨歌(4/4)	白楽天(漢パス020)
せん	8	泉岳寺	坂井虎山(絶日36)	ちよ	472	長征	毛沢東(漢パス080)
そう	259	桑乾を渡る	賈島(絶中34)	つい	14	追悼の詩	安達漢城(続絶日69)
そう	413	桑乾を渡る	賈島(絶中34)	つき	356	月に対して感有り	王守仁(続絶参4)
そう	488	壯遊(部分)	杜甫(漢パス048)	つく	122	筑波山の絶頂に登る	安積良斎(続絶日32)
そう	534	草庵雪夜の作	良寛(絶日24)	つく	538	筑波山の絶頂に登る	安積良斎(続絶日32)
そく	629	即事	夏目漱石(堂NSS)	つち	615	己巳の年元旦の感慨を書きつける	洪沢栄一(堂SBE)
ぞく	533	賊に逢ふ	良寛(絶日23)	つと	85	早に白帝城を発す	李白(絶中17)
そだ	175	蘇台覽古	李白(絶中20)	つと	595	早に白帝城を発す	李白(絶中17)
そだ	616	蘇臺覽古	李白(絶中20)	つと	168	早に深川を発す	平野金華(続絶日8)
そん	121	村夜	白居易(続絶中34)	つま	486	内に贈る	李白(漢パス037)
たい	322	太平洋上作有り	安達漢城(続絶日66)	てん	140	天門山を望む	李白(続絶中19)
たい	360	太平洋上作有り	安達漢城(続絶日66)	てん	342	天意を識る	西郷南洲(律日41)
たい	467	大風の歌	劉邦(漢パス076)	でん	551	澱江子文を送る	藤井竹外(絶日47)
だい	185	大楠公	徳川景山(絶日38)	とう	21	董大に別る	高適(続絶中23)
だい	528	大楠公	徳川景山(絶日38)	とう	174	冬夜書を読む	菅茶山(絶日22)
だい	208	大楠公	河野天籟(律日57)	とう	195	登高	杜甫(律中21)
たか	12	宝船	藤野君山(続絶日63)	とう	224	藤樹書院に過る	伊藤東涯(絶日15)
たか	581	宝船	藤野君山(続絶日63)	とう	387	東城	趙孟頫(吟全中495)
たけ	411	竹	藤井竹外(竹外詩134)	とう	409	冬暁澱江の舟中	藤井竹外(竹外詩120)
たけ	447	竹を哭す	藤井竹外(竹外詩114)	とう	453	桃夭	作者不詳
たて	183	立山を望む	国分青厓(絶日73)	とう	654	東海の(和歌)	石川啄木(CRR5)
たて	603	立山を望む	国分青厓(絶日73)	どう	233	洞庭湖に遊ぶ	李白(続絶中18)
たん	270	短歌「たわむれに」	石川啄木	どう	594	道济村の漁家	藤井竹外(竹外45)
だん	41	壇の浦夜泊	木下犀潭(続絶日34)	どう	265	道歌「親思う」	吉田松陰
だん	228	壇の浦を過ぐ	村上仏山(絶日48)	どう	267	道歌「明日ありと」	作者不詳
ちく	196	筑前城下の作	広瀬淡窓(律日24)	どう	284	道歌「語るなど」	作者不詳
ちく	254	竹里館	王维(絶中10)	どう	285	道歌「徒に」	作者不詳
ちゆ	136	中庸	元田東野(絶日53)	どう	309	道歌「堪忍は」	作者不詳
ちゆ	143	中秋月を望む	王建(続絶中36)	どう	310	道歌「気もつかず」	作者不詳
ちゆ	166	中秋の月	蘇軾(続絶中52)	どう	450	道歌「世の中は」	作者不詳

とき	211	常磐孤を抱くの図に題す	梁川星巖(絶日32)	はな	497	花の井	藤井竹外(竹外詩006)
とき	593	常磐孤を抱くの図に題す	梁川星巖(絶日32)	はは	142	母を奉じて嵐山に遊ぶ	頼山陽(続絶日25)
とき	223	時に憩う	良寛(絶日23)	はは	147	母	松口月城(律)
どく	148	独柳	杜牧(絶中38)	はは	532	母	松口月城(律)
なご	312	名古屋城	松口月城(続絶日81)	はは	410	母を奉じて天保山に遊ぶ	藤井竹外(竹外詩287)
なせ	652	為せば成る(和歌)	上杉鷹山(CRR5)	はは	570	母を憶う	頼山陽(ク19)
なだ	635	灘の浦眺望	伊藤博文(堂NSS)	ばら	566	薔薇 其の一	武田信玄(堂32)
なら	515	寧楽懐古	太宰春台(律日9)	ぱり	614	巴里 其の一	渋沢栄一(堂SSE)
なん	55	楠公墓前の作	吉田松陰(律日42)	はる	25	春を探る	戴益(続絶中47)
なん	535	楠公墓前の作	吉田松陰(律日42)	はる	276	春の花を尋ぬ	管三品(続絶日3)
なん	72	楠公を詠ず	藤田東湖(律)	はれ	306	晴れて・田子の浦(和歌)	作者未掲載
なん	421	楠公詠史	藤田東湖(律日府黄15)	はん	42	半夜	良寛(絶日24)
なん	133	楠公を詠ず	日柳燕石(続絶日3)	はん	464	半夜	良寛(漢パス095)
なん	628	楠公を詠ず	日柳燕石(続絶日3)	ひこ	260	彦山	広瀬淡窓(続絶日30)
なん	188	楠公子に訣るるの図に題す	頼山陽(絶日27)	ひさ	658	久方の(和歌)	紀友則(CRR5)
なん	527	楠公子に訣るるの図に題す	頼山陽(絶日27)	びじ	600	美人山の山躑躅を観る	藤井竹外(竹外25)
なん	382	楠公の図に題す	西郷南洲(吟全日481)	ひと	102	独り敬亭山に座す	李白(続絶中16)
にっ	1	日本刀	大鳥圭介(続絶日40)	ひと	480	独り敬亭山に座す	李白(漢パス025)
にっ	253	日本刀を詠ず	徳川光圀(絶日13)	ひの	560	甲寅秋日偶作	釈月性(絶日51)
にっ	351	日出	伊藤博文(日漢489)	ひや	220	百忍の詩	中江藤樹(続絶参2)
にれ	82	爾霊山	乃木希典(続絶日57)	ひよ	557	兵庫常盤楼上の口占	伊藤博文(絶)
にれ	492	爾霊山	乃木希典(漢パス010)	ひら	101	平野國臣	松口月城(律)
にん	548	仁義村春遊	菊池溪琴(絶日34)	ひら	209	平泉懐古	大槻盤溪(絶日41)
のう	201	農を憫む	李紳(続絶中37)	ひら	375	平泉懐古	大槻磐溪(絶日41)
のう	340	濃州の僧に寄す	武田信玄(絶日56)	びわ	324	琵琶湖上の作	室鳩巢(律日8)
のぎ	240	乃木將軍を挽す	杉浦重剛(絶日72)	ひん	48	貧交行	杜甫(律中16)
のぐ	643	野口英世	松口月城	ひん	481	貧交行	杜甫(漢パス030)
ばい	59	梅花	王安石(続絶中49)	ふう	38	楓橋夜泊	張継(絶中26)
ばい	348	梅花	王安石(続絶中49)	ふう	426	楓橋夜泊	張継(絶中26)
はく	281	白楽天の江州司馬に左降せらるるを聞く	元稹(絶中33)	ふう	341	風林火山	孫子(朗漢絶126)
はく	328	伯夷叔斉を詠ず	山田方谷(絶)	ふが	4	富嶽	乃木希典(絶日70)
はこ	589	箱根路を(和歌)	源実朝(クラ20)	ふし	298	不識庵機山を撃つの図に題す	頼山陽(絶日25)
ばじ	403	馬上偶成	高杉晋作(吟全日507)	ふし	471	不識庵機山を撃つの図に題す	頼山陽(漢パス092)
はち	22	八幡公	頼山陽(続絶日23)	ふじ	66	富士山を詠ず	柴野栗山(律日10)
はち	412	八幡公	頼山陽(続絶日23)	ふじ	591	富士山を詠ず	柴野栗山(律日10)
はち	571	八陣の図	杜甫(続絶中26)	ふじ	305	富士山	石川丈山(絶日11)
はつ	363	初夢	本宮三香(遊吟143)	ふじ	537	富士山	安積良斎(絶日32)
はな	28	花を惜しむ	福沢諭吉(続絶日47)	ふね	16	舟由良港に到る	吉村寅太郎(絶日65)
はな	621	花を惜しむ	福沢諭吉(続絶日47)	ふね	647	舟由良港に到る	吉村寅太郎(絶日65)
はな	241	花に対して旧を懐う	釈義堂(絶日5)	ふね	39	舟大垣に発し桑名に赴く	頼山陽(絶日26)

ふね	597	舟大垣に発し桑名に赴く	頼 山陽(絶日26)	むだ	277	無題	阿部仲麻呂(続絶日1)
ふね	138	舟八島を過ぐ	正岡子規(続絶日72)	むだ	365	無題	阿部仲麻呂(続絶日1)
ふね	437	舟八島を過ぐ	正岡子規(続絶日72)	むだ	321	無題	夏目漱石(律日54)
ふる	567	古寺に花を見る	武田信玄(絶)	むだ	477	無題	夏目漱石(漢パス100)
ふる	656	ふるさとの(和歌)	石川啄木(CRR5)	むだ	455	無題	田中越山(漢パス082)
ぶや	71	武野の晴月	林 羅山(絶日10)	むだ	512	無題	寂室元光(絶日4)
ふよ	89	芙蓉楼にて辛漸を送る	王 昌齡(絶中11)	めい	13	名槍日本号	松口月城(続絶日78)
ふよ	657	芙蓉楼にて辛漸を送る	王 昌齡(絶中11)	めぐ	646	めぐり逢ひて…(和歌)	紫 式部(百-57)
ぶん	369	文友に留別す	小野岑守(日漢569)	もん	91	問梅閣	高 啓(続絶中58)
へこ	192	兵児の謡	末松青萍(律日50)	もん	433	問梅閣	高 啓(続絶中58)
へこ	602	兵児の謡	末松青萍(律日50)	もん	374	門を出でず	菅原道真(律日3)
へん	318	辺詞	張 敬忠(続絶中2)	やう	466	夜雨北に寄する	李 商隱(漢パス072)
ほう	65	豊公の旧宅に寄題す	荻生徂徠(絶日14)	やざ	178	夜坐	藤田東湖(絶日44)
ほう	505	豊公の旧宅に寄題す	荻生徂徠(漢パス089)	やま	70	山の夜	嵯峨天皇(絶日2)
ほう	271	法庫門堂中の作	乃木希典(続絶日58)	やま	372	山の夜	嵯峨天皇(絶日2)
ほう	604	砲術を演ず	佐久間象山(絶日49)	やま	631	山路に楓を観る	夏目漱石(堂NSS)
ぼう	62	某楼に飲す	伊藤博文(続絶日54)	ゆう	320	幽居即時	石川丈山(律日5)
ぼう	219	望湖楼醉書	蘇 軾(絶中48)	ゆう	463	幽州の臺に登る歌	陳 子昂(漢パス064)
ぼう	624	望湖楼醉書	蘇 軾(絶中48)	ゆう	491	友人に送る	李 白(漢パス026)
ぼう	234	亡友月照十七回忌辰の作	西郷南洲(絶日59)	ゆき	290	容奇	新井白石(律日7)
ぼう	345	邨山	沈 佺期(絶中3)	よう	273	酔うて祝融峰を下る	朱 熹(続絶中55)
ほく	545	北濃に遊ぶ	頼 山陽(絶日26)	よう	385	揚子江	文 天祥(吟全中635)
ぼく	287	墨水秋夕	安積良斎(律日26)	よう	508	楊柳枝詞	劉 兎錫(続絶中28)
ぼく	627	墨竹に題す	夏目漱石(堂NSS)	よし	49	芳野	河野鉄兜(絶日56)
ほし	469	歩出夏門行	曹 操(漢パス077)	よし	569	芳野	河野鉄兜(絶日56)
ぼし	609	戊辰の作	板垣退助(堂ITA)	よし	84	芳野に遊ぶ	菅 茶山(続絶日14)
ほと	153	子規を聞く	正岡子規(続絶日70)	よし	149	芳野懐古	藤井竹外(絶日46)
ほと	386	仏の成道	釈 一休(吟全日599)	よし	343	芳野に遊ぶ	頼 杏坪(続絶日15)
ほん	235	本能寺	頼 山陽(律日18)	よし	346	芳野懐古	梁川星巖(絶日31)
まさ	43	将に東遊せんとして壁に題す	釈 月性(絶日51)	よし	550	芳野懐古	野田笛浦(絶日46)
まさ	308	将に小梅に徙らんとして感有り	藤田東湖(絶)	よし	402	吉田義卿を送る(後編)	佐久間象山(日漢詩)
まつ	88	松島	岩溪裳川(絶日71)	よせ	26	余生	良 寛(続絶日17)
まつ	151	松島	釈 南山(続絶日16)	よる	44	夜墨水を下る	服部南郭(絶日17)
まつ	582	松島	釈 南山(続絶日16)	よる	651	夜墨水を下る	服部南郭(絶日17)
まつ	349	松山城	小原六六庵(続絶日83)	よる	282	夜受降城に上って笛を聞く	李 益(絶中28)
まん	60	漫述	佐久間象山(絶日49)	よる	639	夜の雨(和歌)	樋口一葉(NATU)
みず	245	自ら遣る	李 白(続絶中17)	よを	377	夜をこめて(和歌)	清少納言(私百138)
みず	406	自ら小像に題す	魯 迅(吟全中597)	らい	576	頼子成の訃音を聞く	梁川清巖(絶日32)
みず	493	自ら肖像に題す	新井白石(漢パス088)	らっ	57	落花	徳富蘇峰(続絶日64)
みと	230	水戸八景	徳川景山(律日29)	らっ	583	落花	徳富蘇峰(続絶日64)

らん	186	嵐山に遊ぶ	頼	山陽(続絶日22)
らん	494	嵐山に遊ぶ	頼	山陽(漢パス094)
らん	499	嵐山の春夕	藤井竹外	(竹外詩279)
らん	514	乱を避け舟を江州湖上に泛かぶ	足利義昭	(侍90)
りよ	19	涼洲詞	王	翰(絶中5)
りよ	419	涼洲詞	王	翰(絶中5)
りよ	128	涼州詞	王	之涣(絶中7)
りよ	650	涼州詞	王	之涣(絶中7)
りよ	131	両英雄	徳富蘇峰	(続絶日65)
りよ	371	旅夜懷を書す	杜	甫(律中20)
りよ	391	涼夜	高	啓(吟全中673)
りよ	553	旅館に杜鵑を聴く	武田信玄	(絶)
りよ	544	竜盤	菅	茶山(絶日22)
りん	399	臨清の大雪	呉	偉業(吟全中685)
るう	485	路易二世	森	鷗外(漢パス080)
れい	83	零丁洋に過ぐ	文	天祥(律中43)
ろう	430	籠鶯を聞く	藤井竹外	(竹外詩12)
ろく	313	鹿柴	王	維(続絶中8)
ろざ	35	廬山の瀑布を望む	李	白(続絶中22)
ろざ	555	廬山の瀑布を望む	李	白(続絶中22)
わか	644	若竹…(和歌)	紫	式部(紫53)